

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友化学株式会社（証券コード: 4005）

【見直し変更】

長期発行体格付	A+
格付の見直し	ネガティブ → 安定的

【据置】

債券格付	A+
債券格付（期限付劣後債）	A-
発行登録債予備格付	A+
国内CP格付	J-1

■ 格付事由

- 各種高機能材料や農薬などのスペシャリティ領域に強みを有する総合化学大手。医薬品とエッセンシャルケミカルズの不振が響き、24/3期は過去最大の最終赤字となった。これを受け当社では、約6,000億円のキャッシュ創出を目標とする短期集中業績改善策のほか、不振2事業の再興戦略や農業関連・ICT関連を中心とする成長戦略から成る抜本的構造改革を進めている。新しい成長モデルに対応するため、先般、食糧・ICT・ヘルスケア・環境の4つの社会課題に事業領域を紐づける形で、事業部門の再編が行われた。
- 業績回復の蓋然性が高まっており、下振れリスクも抑制される方向となっている。医薬品は徹底した合理化や北米基幹3製品の拡販などで採算が改善してきた。エッセンシャルケミカルズでは、不採算が続いていたペトロ・ラービグ社の再建プランが固まり、今後、同社への出資比率は大幅に引き下げられることとなった。一方、健康・農業関連や情報電子化学、エネルギー・機能材料における主力製品の競争力は維持されており、これら事業の底堅い収益力に変化はない。24/3期の業績悪化で財務面にも悪影響が生じたが、短期集中業績改善策の効果などで25/3期末には財務構成も改善に向かうと考えられる。以上を踏まえ、格付の下押し圧力は和らいだと判断、格付の見直しを「安定的」に変更した。
- 25/3期会社計画ではコア営業利益1,000億円（24/3期は1,490億円の赤字）を予想する。医薬品は構造改革効果で黒字転換を計画。エッセンシャルケミカルズは不採算が続くが、前期に比べ赤字幅は縮小する見込み。事業別でやや濃淡はあるものの、足元の業績は順調に持ち直しており、25/3期第1四半期でコア営業利益は6四半期ぶりに黒字に回復した。短期集中業績改善策も計画に沿って進捗しているもようであり、通期のコア営業利益予想の達成の確度は高いと考えられる。なお、ペトロ・ラービグ社の再建プランに含まれる貸付金の債権放棄に伴い、税引前損益として約270億円の損失が計上される見込みである。
- 24/3期末のネットDER（自己資本ベース、劣後債の資本性考慮、以下同じ）は1.1倍となっており、直近で財務構成が最も良化した22/3期末（0.64倍）に対し大きく悪化している。ただ、24/3期末の有利子負債（劣後債の資本性は考慮せず）は1.6兆円と高水準となっているが、当社では事業再構築や投資厳選などで返済原資を確保し、25/3期末には1.3兆円に圧縮する方針である。また、24/3期末でも親会社の所有者に帰属する持分（劣後債の資本性は考慮せず）は9,000億円台半ばの水準があり、依然、相応の財務耐久力が認められる。構造改革の取り組みが進展していることなどを踏まえると、現状以上に財務リスクが高まる懸念は小さいと考えられる。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：住友化学株式会社

【見通し変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第52回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年9月1日	2036年9月1日	0.850%	A+
第53回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年9月1日	2026年9月1日	0.300%	A+
第55回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年9月13日	2037年9月11日	0.880%	A+
第56回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2017年9月13日	2027年9月13日	0.380%	A+
第58回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2018年4月17日	2038年4月16日	0.900%	A+
第59回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2018年4月17日	2028年4月17日	0.355%	A+
第60回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2019年4月16日	2039年4月15日	0.900%	A+
第61回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年4月16日	2029年4月16日	0.400%	A+
第62回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年10月22日	2040年10月22日	0.780%	A+
第63回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年10月22日	2030年10月22日	0.360%	A+
第65回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年10月13日	2041年10月11日	0.680%	A+
第66回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年10月13日	2031年10月10日	0.280%	A+
第67回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年7月12日	2033年7月12日	0.880%	A+
第68回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2023年7月12日	2026年7月10日	0.280%	A+
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,500億円	2019年12月13日	2079年12月13日	（注1）	A-
第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,000億円	2019年12月13日	2079年12月13日	（注2）	A-
第3回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,000億円	2024年9月12日	2059年9月12日	（注3）	A-

（注1）発行日の翌日から2029年12月13日までにおいては年1.30%。2029年12月13日の翌日から2049年12月13日までにおいては6ヵ月ユーロ円ライボーに1.50%を加えた値。2049年12月13日の翌日以降においては6ヵ月ユーロ円ライボーに2.20%を加えた値。

（注2）発行日の翌日から2024年12月13日までにおいては年0.84%。2024年12月13日の翌日から2029年12月13日までにおいては6ヵ月ユーロ円ライボーに0.85%を加えた値。2029年12月13日の翌日から2044年12月13日までにおいては6ヵ月ユーロ円ライボーに1.15%を加えた値。2044年12月13日の翌日以降においては6ヵ月ユーロ円ライボーに1.85%を加えた値。

（注3）発行日の翌日から2029年9月12日までにおいては年3.300%の固定金利。2029年9月12日の翌日以降においては1年国債金利に3.800%を加えた変動金利。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債（優先債）	1,500億円	2024年5月29日から2年間	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	2,500億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年10月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「化学」（2022年6月15日）、「ハイブリッド証券の格付について」（2012年9月10日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 住友化学株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件劣後債につき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル